



ThinkSmart

ThinkSmart Hub 500 スタートガイド



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

本ドキュメントに記載の内容は 2018 年 6 月 8 日時点のものです。
今後、内容や仕様は予告なく変更される場合があります。

目次

ThinkSmart Hub 500 について	3	システムを再起動する	16
ThinkSmart Hub 500 とは	4	システムで使用する言語を設定する	17
各部名称 (前面)	4	Windows の言語を変更する	17
各部名称 (コネクタ部)	4	Skype Room System アプリの表示言語を 変更する	19
11.6 インチ タッチパネルディスプレイ	5	ThinkSmart Hub 500 をつかいこなす	21
ハドルルームの会議に最適	6	オンライン会議をさらにインタラクティブに	22
いつでもすぐにつかえる	6	コンテンツ共有について	22
機器の拡張でさらに会議が充実	7	Skype for Business / Lync セッションを 通じたコンテンツ共有	22
パッケージに含まれていないもの	7	HDMI 接続によるコンテンツ共有	22
さあ、はじめましょう！	8	外付けディスプレイで拡張	23
会議室に設置します	9	アップデートと初期化	24
パッケージに含まれているもの	9	システムのアップデートについて	24
電源と LAN ケーブルを接続します	9	システムを初期化する (工場出荷状態に戻す)	25
電源の入れかたと切りかた	11	Skype Room System についてさらにくわしく	27
電源を入れる	11	役に立つリンク	27
電源を切る	11	FAQ (よくある質問)	28
会議用アカウントと管理用アカウント	12	よくある質問	29
会議用アカウント (Skype)	12	ユーザーデータ&プライバシー	32
管理用アカウント (Administrator)	12	主な仕様	33
Skype for Business をつかうために	13		
Skype サインインアカウントの登録	13		
初回のアカウント登録手順	13		
管理用ユーザーでログインするには	15		



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

1

ThinkSmart Hub 500 について



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

ThinkSmart Hub 500 とは

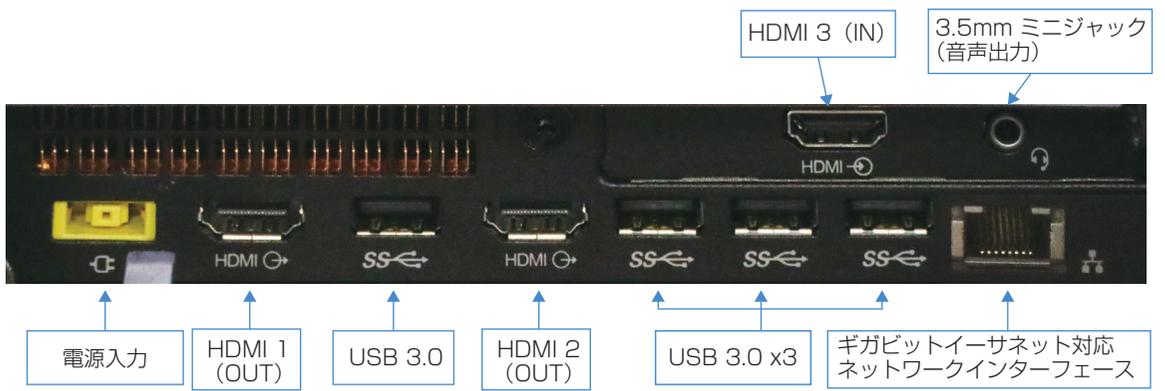
インテル® Core™ i5 vPro™ プロセッサ搭載の ThinkSmart Hub 500 は、会議机の上に設置するだけで、手軽にオンライン会議を管理、運営することができます。タッチパネル、マイク、スピーカーを一体化したオールインワンのユニットは、かんたんに設置でき、直観的な操作で、高音質な会話、ドキュメントとインタラクティブな情報共有を Skype for Business 経由で実現します。

1

各部名称 (前面)



各部名称 (コネクタ部)



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

11.6 インチ タッチパネルディスプレイ

360 度回転可能な 11.6 インチ タッチパネルディスプレイを搭載（着脱はできません）。会議のスケジュールリング、参加者の管理、ミーティングへの参加など、オンライン会議をコントロールできます。



Lenovo™

1



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

ハドルルームの会議に最適

ハドルルーム、小会議室、打ち合わせスペースなどで行われる小規模な会議(最大8人程度)に最適。マイクを2つ搭載し、指向性なく360度の集音で参加者が会議室のどこにいても最大約6m四方の範囲まで高音質会議が実現可能。

メモ：
マイク性能の推奨ルームサイズは約4.6 x 4.6mです。

いつでもすぐにつかえる



スタンバイ中の ThinkSmart Hub 500 は、タッチパネルディスプレイにダブルタップすることで、すぐに点灯します。加えて、本体前面側のディスプレイ下柱部分には、赤外線人感センサーを内蔵。人の動きを検知して自動起動、ルームに着席したらスムーズに会議を開始、終了後、参加者が離席し、部屋が無人になるとディスプレイを消灯して待機、といった運用が可能です。

メモ：
人感センサーは、正面から左右約45度、距離約3mの範囲で検知します。

1



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

機器の拡張でさらに会議が充実

コネクタ部には USB 3.0 ポートを 4 つ装備しています。一般的な周辺機器は、接続するだけで自動検出してドライバーがインストールされ、すぐに利用可能です。外付けのカメラ、キーボード、マウス、拡張マイク、大容量スピーカーなど、必要に応じて接続することで、さらに便利に会議が充実できます。

メモ：

外付けスピーカーを使用する場合、ThinkSmart Hub 500 内蔵のスピーカー／マイクを無効化する必要があります。

外付けで指向性のあるマイクを接続すると、部屋の場所により集音性能が落ちる場合がありますのでご注意ください。

パッケージに含まれていないもの

下記のものは同梱されていません。必要に応じて、ご用意ください。

アイテム	おすすめ
外部 HDMI 対応ディスプレイ (最大 2 台まで接続可能)	40 インチ以上のシングル HDMI 対応ディスプレイ
RJ45 イーサネットケーブル (インターネット / イントラネット)	—

ThinkSmart Hub 500 は無線 LAN に標準対応していますが、設置環境により接続が不安定になる場合があります。安定した接続には、Ethernet による有線 LAN 接続を推奨します。

運用環境	環境、ライセンス要件
オンプレミス	Microsoft Exchange 2013 SP1 以降
	Microsoft Skype for Business Server 2015 以降
	PSTN ダイヤル機能のための Lync インフラストラクチャの組み込み PSTN 機能
クラウド (PSTN ダイヤル)	Office 365 Enterprise E5 (Skype および PSTN 機能)
クラウド	Office 365 Enterprise E1 / E3 または Office 365 Skype Premium ライセンス

1



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

2

さあ、はじめましょう！



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

会議室に設置します

ThinkSmart Hub 500 をパッケージから取り出し、会議室等の傾きのない平らな面に設置します

2

パッケージに含まれているもの

- ThinkSmart Hub 500
- Windows 10 IoT Enterprise (プリインストール)
- Skype Room System (プリインストール)
- 電源アダプター

電源と LAN ケーブルを接続します

ThinkSmart Hub 500 のコネクタ部には、接続したケーブルが不用意に抜けないよう固定し、すっきりと配線できるケーブル管理ベイを装備。外装カバーはネジ止めされています。

1 ケーブル管理ベイのカバーを固定しているネジ（1か所）を外します。

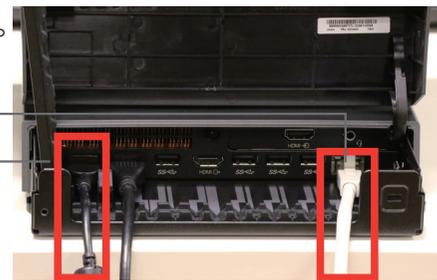


2 ロックリリースボタンを右側に押し、アームを矢印の方向に起こします。



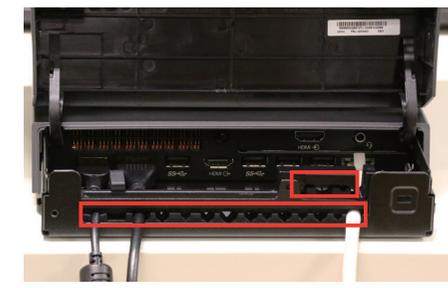
3 電源アダプター（付属品）、LAN ケーブルを接続します。必要に応じて HDMI ケーブルや Web カメラ等を接続します。

LAN ケーブル
電源アダプター



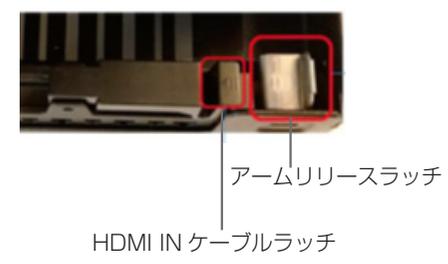
Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

また、HDMI (IN) 用のケーブルはアームの上側にある溝を通し、その他のケーブルは起こしたアームが固定されていた場所にある溝に沿うよう通します。
 各種ポートの配置は、「各部名称(コネクタ部) (P.4)」をご参照ください。



- 4 適切なポートにケーブルを接続し、対応する溝にケーブルを合わせ、アームを閉じてしっかり固定します。

注：アームリリースラッチがカチッと音がするまで確実にはめ込みます。すべてのケーブルがしっかりと固定されます。



- 5 ケーブル管理ベイのカバーを閉じ、ネジ (1 か所) で固定します。



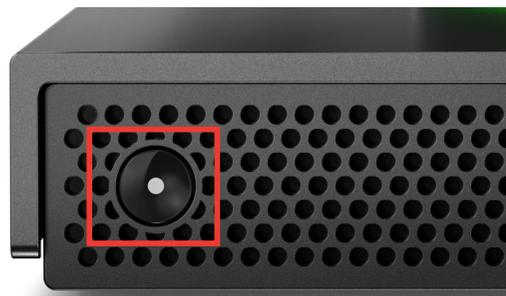
2



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
 インテル® Core™ i5 vPro™
 プロセッサ搭載

電源を入れる

電源ボタンを押します。



起動が完了すると、初回電源投入時は初期設定画面、通常使用時は Skype Room System の操作画面が表示されます。

メモ：

電源が ON になると、ThinkSmart Hub 500 は BIOS POST を実行後、内蔵 SSD から Microsoft Windows 10 IoT Enterprise オペレーティングシステムをロードし、起動します。BIOS POST の内容は初回起動時のみ表示されます。

電源を切る

ThinkSmart Hub 500 は常時起動することを想定して設計されています。電源を切る場合、Administrator 権限でサインインし、スタートメニューよりシャットダウンを選択します。



会議用アカウントと管理用アカウント

ThinkSmart Hub 500 には、工場出荷時に 2 つの Windows アカウントがあらかじめ用意されています。

会議用アカウント (Skype)

Skype Room System (SRS) アプリが実行されるデフォルトの Windows アカウントです。このアカウントは SRS アプリ専用です。SRS を実行するための既定の推奨アカウントで、管理者権限はありません。

メモ：

このアカウントは、OS が起動するとそのまま Windows にサインインし、SRS アプリは「Skype」アカウントで自動起動するようにデザインされています。

管理用アカウント (Administrator)

パスワードで保護された、Windows 標準の管理者アカウントです。「Administrator」アカウントは ThinkSmart Hub のデバイス管理にのみ使用します。工場出荷時のパスワードは「sfb」です。通常の会議では使用しません。

メモ：

SRS アプリを実行するアカウントは会議用アカウントの「Skype」です。

2



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

Skype for Business をつかうために

2

Skype サインインアカウントの登録

初回のアカウント登録手順

ThinkSmart Hub 500 から Skype Room System を利用するには、Skype Room System 上でのサインインが必要となります。詳細は「パッケージに含まれていないもの (P.7)」もご参照ください。

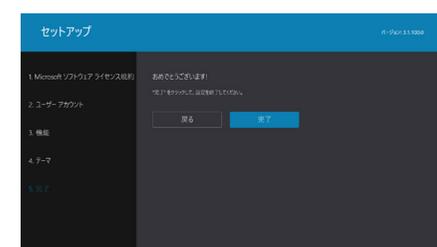
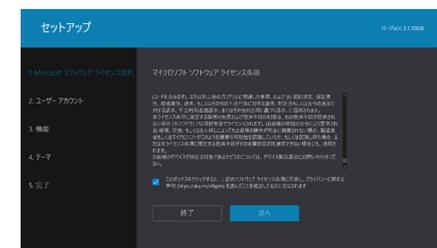
1 マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項画面が表示されたら、内容を確認し、問題がなければ、チェックボックスをタップし、[次へ] をタップします。

メモ:
Skype for Business または Lync のアカウントを事前に取得しておく必要があります。

2 ユーザー アカウント画面にて、Skype サインイン アドレスとパスワードを入力し、下にスワイプし [次へ] をタップします。

3 機能画面、テーマ画面では設定をデフォルトのままに、それぞれ [次へ] をタップします。

4 完了画面にて [完了] をタップします。



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

SRS アプリは認証情報でサインインを開始します。認証が完了すると、SRS アプリはサインイン状態になり、会議の準備が整います。

すでに予約済みの会議があれば左側に会議のリストが表示されます。リストからご希望の会議の [参加] タップすると参加できます。



変更したいときは？

1  をタップし、[設定] を選択します。



サインインページが開いたら、アカウント情報を変更して [保存して終了] をタップします。SRS アプリが再起動し、変更後のアカウント情報で改めてシステムにサインインします。



2



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

管理用ユーザーでログインするには

1  をタップし、[設定] を選択します。



2 管理者パスワードを入力します。

3 Windows 設定を選択し、[管理者サインインに移動] をタップします。



4 [Administrator] アカウントを選択し、管理者パスワードを入力します。

管理者の資格情報を要求するプロンプトが表示され、正常に検証されると、ユーザーは管理者としてログインしてデバイスを管理できます。

2



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

システムを再起動する

- 1  を選択して [デバイスを再起動] をタップします。



ThinkSmart Hub 500 が再起動します。

自動で「Skype」アカウントにログイン、SRS アプリを起動、アカウントが登録済みの場合、自動的に Lync または Skype アカウントにサインインします。



2



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

システムで使用する言語を設定する

Windows の言語を変更する

1  をタップし、[設定] を選択します。



2 管理者パスワードを入力します。

3 Windows の設定を選択し、[管理者サインインに移動] をタップします。



4 [Administrator] アカウントを選択し、管理者パスワードを入力します。

5 タスクバーの左下にある Windows ロゴをタップし、[設定] を選択します。



2



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
 インテル® Core™ i5 vPro™
 プロセッサ搭載

2

- 6 [時刻と言語] を選択します。
次に [地域と言語] を選択し、[言語を追加] をタップします。
- 7 一覧の中から設定したい言語を選択し、タップします。
- 8 [規定として設定する] をタップします。
- 9 Administrator アカウントからサインアウトし、再度サインインします。



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

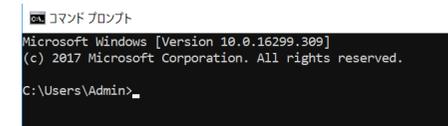
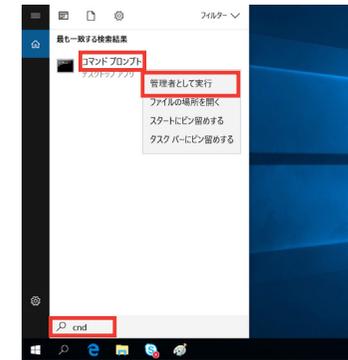
Skype Room System アプリの表示言語を変更する

注：あらかじめ、Administrator アカウント上で Windows の表示言語を変更する必要があります。「Windows の言語を変更する (P.17)」を参照してください。

- 1 Windows Search から [cmd] を検索し、[コマンドプロンプト] を長押しし、[管理者として実行] をタップします。

コマンドプロンプトが起動します。

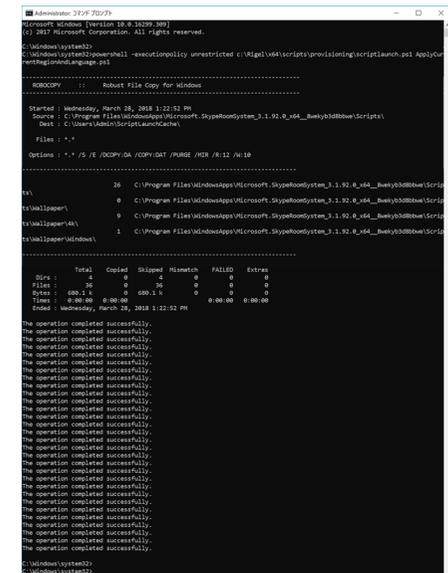
注：管理者権限でログインをしないとコマンドプロンプトを実行できません。



- 2 次のコマンドを入力します。

```
powershell -executionpolicy unrestricted  
c:¥Rigel¥x64¥scripts¥provisioning¥scriptlaunch.ps 1  
ApplyCurrentRegionAndLanguage.ps 1
```

上記 3 行をスペース区切りで 1 行にして  を 2 回タップします。



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

2

- 3 Windows を再起動します。
ThinkSmart Hub 500 が再起動すると、選択した言語が Skype Room System で使用できます。



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

3

ThinkSmart Hub 500 をつかいこなす



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

オンライン会議をさらにインタラクティブに

3

コンテンツ共有について

ThinkSmart Hub 500 は、2 種類のコンテンツ共有モードをサポートしています。

- ・ Skype for Business、または Lync セッションのコンテンツ共有
- ・ HDMI ベースのコンテンツ共有

Skype for Business / Lync セッションを通じたコンテンツ共有

スマートフォン、タブレット、PC などのクライアントデバイスから実行される Skype for Business または Lync クライアントは、Skype または Lync セッションを通じてコンテンツと画面を共有できます。

共有が開始されると外付けディスプレイ上にコンテンツを表示します。

注：この共有コンテンツは外部ディスプレイに表示はされますが、ThinkSmart Hub 500 内には保存されません。

HDMI 接続によるコンテンツ共有

コネクタ部には、HDMI インジェスト機能を備えた HDMI (IN) ポートがあります。

PC などのクライアントデバイスを接続すると、クライアントデバイスの画面内容がそのまま HDMI (OUT) ポートに接続した外付けディスプレイおよび共有先に表示されます。



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

外付けディスプレイで拡張

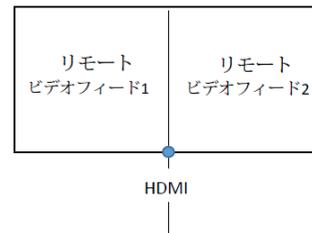
コネクタ部には、HDMI (OUT) ポートが2つ用意されており、外付けディスプレイは最大2台まで接続できます。

メモ：

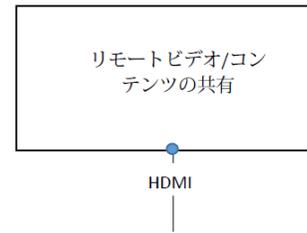
- ・初期設定では、外付けディスプレイの設定はミラーリングになっています。Skype Room Serviceの[設定]-[機能]メニューにて[デュアルモニターモード]を[オン]にすることで、外付けディスプレイにリモートビデオフィードや共有コンテンツを表示できるようになります。
- ・外付けディスプレイは、1画面の場合4K、2画面の場合1,920x1,080(フルHD)の解像度で表示可能です。

オンライン会議で視覚情報を共有するには、外付けディスプレイを接続することをおすすめします。外付けディスプレイ表示を活用することで、ローカルおよびリモートの会議出席者全員が同じ内容を見ながらのミーティングが可能となります。ディスプレイには、会議参加者のライブビデオ画像とコンテンツを表示できます。複数の参加者がそれぞれ動画を表示している場合、それに応じて画面を分割して参加者からの動画を表示します。

画面を分割して表示



共有コンテンツを画面全体に表示

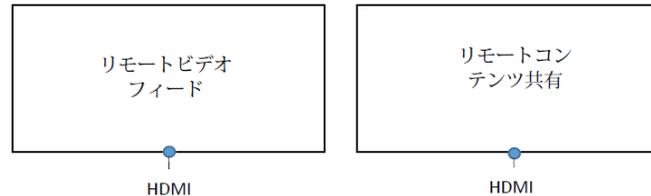


参加者からの共有内容により、切り替えて表示

1台の外付けディスプレイを接続

外付けディスプレイ1台が接続されている場合、ライブビデオを利用した参加拠点が2つあると画面が分割されて、各拠点からのリモート映像が同時に表示されます。参加拠点からコンテンツ共有を行う場合は、ディスプレイ表示はビデオ画像から共有コンテンツに切り替わります。

内容をつかい分けて表示



ディスプレイ毎の内容を表示

2台の外付けディスプレイを接続



外付けディスプレイ2台が接続されている場合、1台を各拠点からのリモート映像表示用、もう1台を参加拠点からの共有コンテンツ表示用として、両方を同時表示可能となります。

3



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

アップデートと初期化

システムのアップデートについて

ThinkSmart Hub 500 は、お客様業務で使用している通常の Windows デバイスと同様に、標準のモバイルデバイス管理 (MDM) を介して管理することができます。OS を含むすべてのソフトウェアとドライバーは、Windows Update および Microsoft Store 経由で随時更新されます。ファームウェアについては、Lenovo サポートポータルからダウンロードし、手動で更新する必要があります。

<https://technet.microsoft.com/en-us/library/mt790549.aspx>

<https://technet.microsoft.com/en-us/library/mt797749.aspx>

3



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

システムを初期化する（工場出荷状態に戻す）

ThinkSmart Hub 500 は、Windows プッシュボタンリセット（PBR）機能をサポートしています。この機能は、ThinkSmart Hub 500 を工場出荷時の状態に戻します。

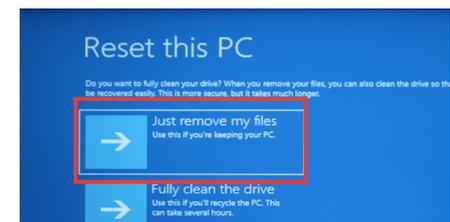
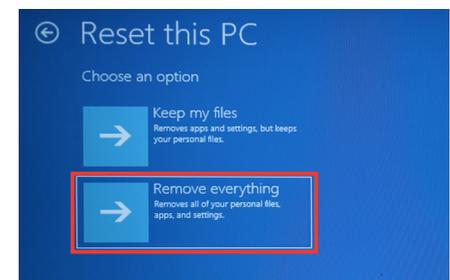
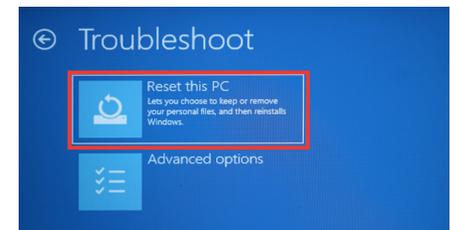
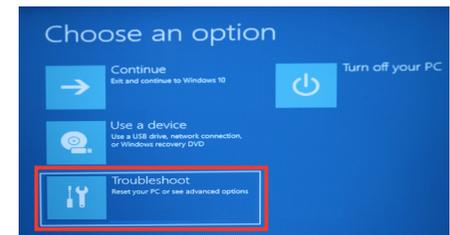
- 1 USB ポートの 1 つに外部キーボードを接続します。
- 2 再起動するか、電源を切り再び電源を入れます。
BIOS POST が開始されたら、すぐにキーボードの F11 キーを連打します。
通常の OS 起動シーケンスに割り込み、Windows リカバリー環境が選択できるメニュー画面が表示されます。
- 3 [Troubleshoot] を選択します。

- 4 [Reset this PC] を選択します。

- 5 [Remove everything] を選択します。

注：[Keep my files] による回復はサポートされていません。

- 6 [Just remove my files] を選択します。



3



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

3

7 [Reset] を選択します。

ThinkSmart Hub 500 を工場出荷状態にリセットするプロセスが開始されます。ThinkSmart Hub 500 の電源を切ったり、ThinkSmart Hub 500 を再起動したりしないでください。

プロセス全体に数時間かかることがあります。完了すると、ThinkSmart Hub 500 は工場出荷時の状態に復元されます。「Skype for Business をつかうために (P.13)」を参照してください。



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

Skype Room System についてさらに詳しく

Skype Room System は、会議室をリッチで協力的な Skype for Business エクスペリエンスに変身させるために設計された Microsoft の最新の会議ソリューションです。

液晶モニター等の既存の機器を活用して Skype for Business を会議室に持ち込むために設計されています。

ユーザーは使い慣れた Skype for Business を利用でき、IT 管理者は Windows 10 ベースのため、かんたんに管理することができます。

役に立つリンク

<https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/mt790550.aspx>
Skype Room Systems バージョン 2 の計画 (日本語)

<https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/mt790549.aspx>
Skype Room Systems バージョン 2 を管理する (日本語)

<https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/mt797749.aspx>
OMS を使用した Skype Room Systems バージョン 2 の管理を展開する (日本語)

<https://technet.microsoft.com/en-us/library/mt790550.aspx>
Plan for Skype Room Systems v2 (英語)

<https://technet.microsoft.com/en-us/library/mt790549.aspx>
Manage Skype Room Systems v2 (英語)

<https://technet.microsoft.com/en-us/library/mt797749.aspx>
Deploy Skype Room Systems v2 management with OMS (英語)

3



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

4

FAQ (よくある質問)



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

4

- 必要なソフトウェアはすべてプリインストールされていますか？**
はい。工場出荷時に、OSとしてWindows 10 IoT Enterpriseとオンライン会議に必要なソフトウェアはすべてインストールされています。会議システムへのサインインに必要なSkype for BusinessまたはLyncのライセンスやアカウントは、別途ご用意ください。「パッケージに含まれていないもの (P.7)」もご参照ください。
- ドライバー、ソフトウェア、BIOS アップデートはどのように提供されますか？**
OSを含むすべてのソフトウェアとドライバーは、Windows Update および Microsoft Store 経由で随時更新されます。BIOS については、Lenovo サポートポータルからダウンロードし、手動で更新する必要があります。
- ウィルス対策ソフトウェアをインストールする必要はありますか？**
標準ではWindows Defenderによりセキュリティ保護されています。お客様の運用ポリシーに沿ったウィルス対策ソフトウェアを使用することも可能です。
- コンシューマーエレクトロニクスコントロール (CEC) をサポートしていますか？**
いいえ。サポートしていません。
- Microsoft Operations Management Suite (OMS) 経由で ThinkSmart Hub 500 を管理する方法はありますか？**
Microsoft の「<https://technet.microsoft.com/en-us/library/mt797749.aspx>」を参照してください。
- PXE ブートをサポートしていますか？**
はい。サポートしています。
- 最適な音声と動画のパフォーマンスを得るためのネットワーク帯域幅の要件は何ですか？**

通信内容	推奨帯域幅 下り / 上り
呼び出し	100kbps / 100kbps
ビデオ通話 / 画面共有	300kbps / 300kbps
ビデオ	1.5Mbps / 1.5Mbps
グループビデオ (3 人以上の参加者)	2Mbps 超 / 1.5Mbps 超

- Wi-Fi 接続をサポートしていますか？**
Wi-Fi 接続はサポートしていますが、安定した接続でご使用頂くには有線でのご使用を推奨いたします。また、会議用 (Skype) アカウントからネットワークに接続するには、有線イーサネット接続が必要になります。Wi-Fi をご使用する場合は「管理用 (Administrator)」アカウントから設定をしてください。
- 対応周辺機器、カメラ、拡張マイク / スピーカーなどのリストはありますか？**
ThinkSmart Hub 500 は 4 つの USB 3.0 ポートを装備しており、Skype for Business 認定オーディオ / ビデオ周辺機器の利用を推奨します。
マイクロソフト認定デバイスの詳細については、下記をご覧ください。
<https://partnersolutions.skypeforbusiness.com/solutionscatalog/personalperipheralspcs>、
<https://technet.microsoft.com/en-us/library/mt790552.aspx>
- ThinkSmart Hub 500 は Microsoft Surface Pro タブレットを搭載していますか？**
いいえ。11.6 インチ タッチパネルディスプレイが装着されており、Microsoft Surface Pro シリーズのタブレットを用いたドッキングステーションではありません。



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

4

11. ワイヤレスディスプレイをサポートしていますか？

いいえ。サポートしていません。

12. 外部配線用のケーブルは接続部を固定できますか？

コネクタ部周辺にケーブル配線固定用の機構を備えています。HDMI、USB、電源ケーブルなどのすべてのケーブルをユニットにしっかりと接続できます。「電源とLAN ケーブルを接続します (P.9)」をご参照ください。

13. 固定できる外部配線ケーブルの直径は？

ケーブル種別	ケーブル径
HDMI	5mm ~ 7.5mm
USB	3.5mm ~ 6mm
電源 (AC アダプター)	3.5mm ~ 4.5mm

14. Windows 以外のデバイスと互換性がありますか？

ThinkSmart Hub 500 は、Windows 10 IoT Enterprise OS 上で Microsoft Skype Room System ソフトウェアを実行します。Skype for Business クライアントは Windows、Android、macOS、および iOS でサポートされています。ThinkSmart Hub 500 経由でコンテンツを共有するための HDMI インジェストは、上記のすべての OS をサポートしています。「コンテンツ共有について (P.22)」をご参照ください。

15. ThinkSmart Hub 500 を PC として使用できますか？

いいえ。ThinkSmart Hub 500 は、Skype を利用した卓上会議 AV デバイス専用機として設計されています。

16. Lenovo 固有のソフトウェアがインストールされていますか？

ThinkSmart Hub 500 には、Windows 10 IoT Enterprise OS と Microsoft Skype Room System ソフトウェア、ThinkSmart Hub 500 を稼働するために必要なすべてのドライバーがあらかじめインストールされています。その他のソフトウェアはインストールされていません。

17. プレゼンテーションやその他の資料を ThinkSmart Hub 500 に保存して共有することはできますか？

いいえ。すべてのコンテンツ共有は、Skype for Business / Lync セッションを介して、ThinkSmart Hub 500 に接続されているクライアントデバイス同士でリアルタイムに行われます。ThinkSmart Hub 500 は、会議中の共有などを目的としたユーザーデータの格納をサポートしていません。



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
 インテル® Core™ i5 vPro™
 プロセッサ搭載

18. ネットワークブートをサポートしていますか？

はい、ThinkSmart Hub 500 はイーサネット (RJ45) 経由のネットワークブートをサポートしています。ThinkSmart Hub 500 を再起動し、ブートストラップ中に F12 キー を連打すると、Startup Device Menu に入ります。設置しているネットワーク環境に応じて、[Network] の [UEFI: IP4] または [UEFI: IP6] オプションを選択して、ネットワークブートを開始します。



19. USB ブートをサポートしていますか？

はい。ThinkSmart Hub 500 は USB デバイスからのブートをサポートしています。USB ポートのいずれかに USB キーを挿入し、質問 18 と同様の手順に従って、起動デバイス選択メニューで操作してください。

4



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

ユーザーデータ&プライバシー

ThinkSmart Hub 500 は、パーソナルデバイスではありません。ユーザーデータは ThinkSmart Hub 500 に保存できません。ThinkSmart Hub 500 の内のすべてのデータは一時的なものであり、内部に保存されません。すべてのスクリーン共有またはコンテンツ共有は、Skype for Business または Lync セッションまたは HDMI インジェストを介して接続されたラップトップ、スマートフォンなどのクライアントデバイスから行われます。

Lenovo は、ThinkSmart Hub 500 から使用統計情報、またはユーザーまたはデバイスのデータを収集することはありません。

4



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

5

主な仕様



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載

5

ThinkSmart Hub 500

ディスプレイ	11.6 インチタッチディスプレイ
	アンチグレアとアンチフィンガープリントコーティング
	360 度回転可能
マイク	トップディスプレイのベゼルに内蔵された集音マイク× 2
スピーカー	Dolby Audio Premium - デュアル 4W スピーカー
ポート	HDMI アウトプット × 2
	HDMI インプット× 1
	USB 3.0 ポート× 4
	電源ポート× 1
	RJ-45 ギガビットイーサネット× 1
プロセッサ / SSD / RAM	インテル® i5 第 7 世代 vPro プロセッサ / 128GB / 8GB
オペレーティング・システム	Windows 10 IoT Enterprise
センサー	内蔵 IR プレゼンス / モーションセンサー
ソフトウェア	Skype Room System
ボタン	前面の電源ボタン
ケーブル管理&セキュリティ	ユニットの背面にあるラッチを固定してケーブルを固定 ケンジントロック

Intel、インテル、Intel ロゴ、Ultrabook、Celeron、Celeron Inside、Core Inside、Intel Atom、Intel Atom Inside、Intel Core、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel vPro、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、vPro Inside、Xeon、Xeon Phi、Xeon Inside、Intel Optane は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。

製品の詳細、お問い合わせは

 <https://lenovo.jp/business>

 L_pitch@lenovo.com



Intel Inside® 飛躍的な生産性を
インテル® Core™ i5 vPro™
プロセッサ搭載